

かんたろう
寒太郎 (MKX-336)

外観・品質に優れた寒玉系中生種

特 性

- ① 播種後110～120日で収穫期となり、年内～冬穫りに最適の中生種です。
- ② 球は扁円球でしまり良く、球表面のブルームが少なく濃緑でテリがあり、低温期のアントシアンも発生しにくい為、品質に優れています。
- ③ 耐寒性、耐裂球性があり収穫期の幅が広いので市況にあわせた出荷が可能です。
- ④ 中間地では7月下旬～8月中旬まき12～1月穫り、暖地では8月上～下旬まき12～2・3月穫りに最適です。



栽培のポイント!

- ① 年内～冬穫りを適作型とする品種ですので、極端な早まきは避けます。
- ② 生育期間が長いので、追肥主体の施肥設計とし、生育後半に肥料切れしないように心がけます。
- ③ 水田後作の場合は、できるだけ排水良好な圃場を選び、高畝とします。



下記標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

	7	8	9	10	11	12	1	2	3
冷涼地	●	×	—	—	—	—			
中間地		●	×	—	—	—	—	—	
暖地			●	×	—	—	—	—	—

● 播種 育苗 × 定植 — 生育 □ 収穫